

東間浅間神社所在の富士塚が市指定文化財に

教育委員会では今回、富士山を御神体とする「富士信仰」を現在に伝える貴重な文化財として「東間の富士塚」を市指定文化財に指定しました。

富士山は霊峰として崇拝されていますが、実際に登山するためにはたいへんな労力が必要です。このため誰もが富士登山を行い、その靈力にあやかることができるようにと、富士山を模した築山を身近な場所に築いたものが富士塚です。

東間の富士塚は高さが約6mで、頂に社殿を祭っています。かつては塚に登頂すると、遠く南西方向に富士山を眺望することもできました。塚の中腹には享保8年(1723)に建てられた「石段供養塔」があり、信仰の古さを伝えています。



東間の富士塚

富士塚は旧中山道沿いの浅間神社境内にあり、実際の富士山の山開ぎに合わせた6月30日、7月1日には初山行事が行われます。初山は、この一年に生まれた赤ちゃんを富士塚に登らせ、額に朱印を押し、お払いを受け成長を祈願する行事です。北本に夏を告げる風物詩として多くの参拝客でにぎわいます。



新緑の中、第25回みどりのフェスティバル大盛況

4月29日の昭和の日、子供公園をメイン会場に「第25回みどりのフェスティバル」が開催されました。当日は、みどりのウォークラリーが開催されたほか、こども一日動物村や苗木の配布など、楽しいイベントが繰り広げられ、多くの来場者でにぎわいました。



美味しくなった！喜びの声あがる

4月11日、西中学校で自校式給食が開始されました。今までは給食センターからの配給となっていたが、西中学校内給食室で調理が行われることで、出来たての給食が提供されます。西中学校以外の市内中学校3校も順次自校式へと移行予定です。

夏のさわやかスポット

市長のほっと・とーく

国木田独歩はその著「武蔵野」の中で、雑木林の四季折々の美しさや有益性を描いています。人間の生活と自然が密接する里山の雑木林は、独歩の言う武蔵野地域では見ることが難しくなりましたが、北本には今も多く残っています。中央緑地、県の自然観察公園、高尾宮岡のトラスト地など、美しい緑を堪能できる場所は枚挙にいとまがありません。また、市の顔ともいべき北本駅西口駅前広場内には市内の雑木林から移植した木の株を植えました。

北本市内の宅地の割合は約40%ですが、畑・山林原野などを合わせた緑地もほぼ同率で、まさに「緑にかこまれた」まちと言えます。

北本市では、今夏、外出による節電の啓発と北本市の自然環境の魅力を感じていただくことを目的に、「きたもと節電コンテスト2013夏」の夏のさわやかスポット部門を実施します。

市内でおすすめの「夏のさわやかスポット」を募集し、市がさまざまな媒体で紹介いたします。

雑木林や谷津はもちろん、屋外で涼しくさわやかに過ごせる場所をたくさん探していただくことにより、市民の皆様は北本の自然を再認識していただくとともに、北本の魅力を広く市外にも発信していきたいと考えています。

ちなみに私の一押し

は、斜面林、湧水、「龍燈杉伝説」(龍がこの池の杉御神木から昇天した)をもつ、安産・女性の守護神、厳島神社です。



北本市長 石津 賢治